

世界遺産登録に向けて

佐渡金銀山絵巻をひもとく(13)

「ねこ流し」

「粉成」され、粉状になった鉱石を、水を入れた立桶に入れかき回します。濁った上水は「上船」という板製の水槽に入れ、底に溜まった砂状の鉱石を再度石磨にかけて立桶に入れ、濁った上水をふたたび上船に集めます。

上船の底に溜まった「摺物」と呼ばれる沈殿物を、両脇に縁を付けた板（長さ8尺から1丈4寸位・幅7寸）に木綿を敷き、水と一緒に流します。これを「ねこ流し」といいます。

この木綿を「ねこ木綿」といい、繊維の間に比重の高い金銀の粒子を溜めます。それを「打ち込み桶」水洗いして、ゆり板で純度の高い金銀に選り分けます。純度の低いものは再度ねこ流しへ、粒状のものは石磨にまわされます。

繊維に溜まらない軽い不純物は、「尻船」という水槽に溜めます。この尻船に溜まった不純物は、何度もうねこ流しにかけられます。このようにして、鉱石から金銀を100%近く採取します。

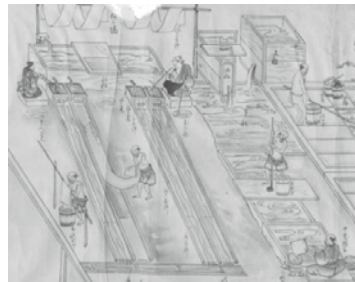
◆市役所世界遺産推進課（金井就業改善センター内） ☎63-5136



ゆり板を用いて、金銀を採取している。



ねこ流しは女性が中心。いずれの絵巻にも乳飲み子を抱えた女性が描かれている。



ねこ流しの語源は、砂金採集で用いる「ね莫産」からきているという。

生活情報 さど

「あやしい」と思ったら、契約前に消費生活センターへ

「あらゆる手段で勧誘！」

投資詐欺に注意！

「銀行に預けておいたのでは、お金がもつたいない」「配当金が、元本の数倍の額になる」などと言葉たくみに勧誘し、高額な投資をさせた後、配当金も渡されず業者とも連絡ができなくなる「投資詐欺」の相談が後を絶ちません。

【具体例】

・高齢でひとり暮らしの父のもとに業者が足繁く訪問し、高利回りの商品を勧めたため、父は根負けして数百万単位のお金を複数回、投資してしまった。3回ほど配当金が振り込まれたが、その後、配当は無い。父に解約するよう伝えても、業者を信用していて解約を拒否する。

・知り合いの女性に「預けたお金の6倍7倍になって戻ってくる」と勧められて、生活資金の数百万円を海外の投資業者に支払った。中途解約できない契約だったので待っていたが、その後配当は無く、業者からも連絡がない。

突然自宅に電話で「佐渡ゴールドアイランド事業に投資しませんか」と勧誘があった。配当率の高さや安全性ばかり一方的に話し、事業の内容や元本割れの危険性等については全く説明がなかった。

【アドバイス】

○業者は、その時々々の社会情勢を反映させ、「いかにも存在しそう」と思わせるセールストークを使って勧誘します。発展途上国の土地開発、太陽光発電事業、二酸化炭素排出権取引などに投資するよう勧められたケースもありました。

○「年250%の収益率」「月間40%の高配当」「国が保証」などというような投資商材は基本的に存在せず、また、特別に自分だけが儲かるというような事はあり得ません。

○投資であれ、資産運用であれ、元本が絶対保証される事はあり得ないことであり、元本割れの危険性を説明しない業者は、信用できないと思つて間違いありません。

○一度お金を支払ってしまうと、取り戻すのは極めて困難です。うまい話を持ちかけられてもきっぱり断りましょう。

○おかしいと感じたら、支払う前に消費生活センターにご相談ください。

お問い合わせ

市役所総務課 市民相談室 消費生活センター係（佐和田行政サービスセンター内） 佐渡市立消費生活センター（平日）午前9時～午後4時

☎57-8143